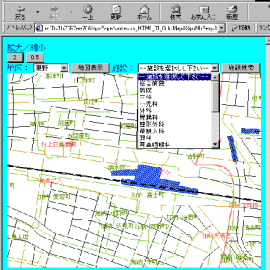
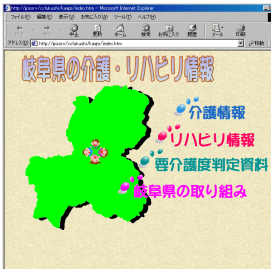
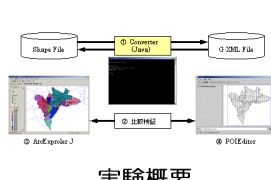


岐阜県地区での実験

実験名称 福祉・医療を含めた総合防災支援管理の研究開発		
参加者名称 株式会社ユニオン技術センター 専務取締役 河合一雄 他		
実験内容と目的 地域住民が将来安心して生活ができる体制作りの一環として、web 上で福祉施設、病院施設情報を公開する研究開発を行った。情報の一元管理を想定し、複数機関で蓄積した情報を共有化する仕組みおよびその情報分析手法を研究した。	利活用データ 防災情報データベース、国土数値地図情報、街区レベル位置参照情報、数値地図 2500（空間データ基盤）、数値地図 2500（地名・公共施設）、土地利用規制図、都市計画基本図、都市計画基礎調査	実験のキーワード 防災 医療・福祉 web 情報配信
成果と課題など 防災情報データベースを利用し、全国の施設等を検索・参照したため、調査の時間が短縮され、広範囲での検索・参照が可能となった。 最新データの判別が困難なデータや、使用した汎用 GIS ソフトでは読込めないファイル形式もあり、今後はデータ流通形式の統一化、もしくは汎用 GIS ソフトの多種データへの対応が望まれる。		

実験名称 G-XML 活用により不特定ユーザからのデータ更新を許す Web システムの基礎技術実験		
参加者名称 株式会社シー・アイ・ジェイ 中部支社 主任技師補 近藤浩樹 他		
実験内容と目的 G-XML 技術により「不特定ユーザがコンテンツを更新できる地域情報 Web システム」を実現するための基礎技術確立を目指し、実証実験データベースの SHAPE 形式ファイルと G-XML 形式ファイルの双方向コンバータを開発する。	利活用データ 数値地図 2500（空間データ基盤）、数値地図 25000（行政界・海岸線、地名・公共施設）、国土数値情報 公共施設、岐阜県環境、岐阜県防災	実験のキーワード 防災 その他（環境） web 情報配信 標準化
成果と課題など 今回の実証実験において、重ね合わせの際の座標単位や座標基点の変換、部分変換、解像度の階層化といった、SHAPE 形式データを G-XML に統合していく際の課題が明確となり、目標とする地域情報システムの核となる G-XML データベースの開発に向けて着実な成果が得られたと考える。	 地域情報Webサイト	 実験概要

実験名称 GIS ベースの岐阜県 3 次元都市モデルの自動生成システムとその活用		
参加者名称 岐阜経済大学 経営学部 経営情報学科 杉原健一		
実験内容と目的 GIS と CG を統合化して 3 次元都市モデルを自動生成するシステムを構築する。3 次元都市モデルを活用して、まちづくりや都市計画における合意形成システムを構築する。	利活用データ 都市計画基本図、街区、道路中心線、20m 間隔等高線	実験のキーワード 国土・地域計画 都市計画・土地利用 3 次元 統合型
成果と課題など 本研究では、都市計画、まちづくり、景観評価、防災など様々な活用が期待される「3 次元都市モデル」を、GIS と CG を統合化して、自動生成することに成功した。活用事例では、中心市街地活性化のための提案として、町屋型の店舗を市街地に配置する都市モデルを生成した。		